

武漢事務所週刊ニュース 41号 (2012年2月13日~19日)

湖北観光バス統一の「旅客運輸マーク」を表示

2012年2月14日 武漢晩報

最近、旅行者のツアーに参加する際に、観光バスに統一のマークが無ければ、そのバスは許可を受けていないバスである。13日、湖北省運輸管理局の伝えるところによると、省内全ての観光バスに統一のマークを表示する。現在マークを塗装しており、先行して、1ヶ月以内に武漢にある千台近いバスの塗装を終える。

昨年、湖北省内で多くの観光バスによる多数の死亡事故があった。武漢市運輸管理部門が調査したところによると以下のような非合法行為が行われている。武漢市以外のバスで、武漢市内での運営を認められていない省外の観光バスや省間・省内の貸切バス。観光貸切バスの規定に違反している路線バス。運営許可はあるが貸切バスの運営許可は取得していないバス。観光貸切バスの許可を取得していない“違法バス”。貸切バス切符や貸切り契約を行わない。貸切契約を行っている客以外の者を乗せる。バス停以外のところで乗降する。路線のコース以外を走る、高速道でも好き勝手に乗降させる。このような行為により旅行者の命や財産の安全を脅かす事態に至っている。

昨年11月から湖北省は道路旅行客運送安全の項目を整理している。その中で旅客運輸マークを統一することになった。道路旅行客運送バスマークは「靈秀湖北」ロゴと「湖北旅遊」の文字の組み合わせでできている。新しい観光バスは全て青色であり、「靈秀湖北」のロゴを貼っている。既に運営している観光バスは両側に「靈秀湖北」ロゴを貼っている。

4月24日武漢シンガポール直行便運航

2012年4月24日湖北日報

シンガポールへの直行便が4月24日に開通すると最終決定したと昨日、劉立勇武漢市副市長が明かした。

当日、武漢市の担当部署とシンガポール国際企業発展局の責任者が多くのプロジェクトについて話しあった。

開通後、毎週火曜、木曜、土曜の週三回往来する。現在、武漢は、ビザ申請の簡易化のため、シンガポール在武漢領事館の設立を目指している。

2010年11月にシンガポール国際企業発展局の在武漢事務所を開設し、30

k m²の中新科技パーク(武漢)などの大きなプロジェクトを押し進めている。2011 年末、シンガポールと武漢の貿易額は 3.63 億ドル 290.4 億円であり、前年同時期に比べ 10.3%伸びている。シンガポール企業が武漢で新たに実施している中国企業との合資プロジェクトは 195 件に上る。